

曲がり角をまがったその先は？

〈今月の聖句〉 「主よ、あなたの道をお教えてください」

(詩篇 86 篇 11 節)

「自分の未来は真直ぐのびた道だと思ってたの。ずっと先まで見通せると。
でも今、曲がり角にきたのよ。曲がり角を曲がった先に何かあるか
分からないの。でも、きっと一番よいものに違いないと思うの」

(モンゴメリ作『赤毛のアン』より)

奨学金を得て進学する夢が家の事情で断られたとき、主人公のアンが語った言葉です。さらに続けて、

「神は天にあり、世はすべてよし」とも彼女はつぶやいています。

直線道路ならいくらでも先を見通せよう。

けれど、曲がり道の曲がった先は未知の世界。そして思いもよらぬ曲がり角に出くわすのが人生です。大人も子どもも、それは同じ。

なのに、「その先は、きっと一番よいものになる」と言い切れるアン。

人生が単に「自分の思いを押し通す自分の道」ではなく

私を愛してくださる方が共に歩む「あなたの道」であることを知ったから。

どんな道を歩んでもよいのです。

大切なのは、どこを歩むかではなく、誰と共に歩むか。

3月。今年も間もなく、つくしから9名の子どもたちが巣立っていきます。

つくしで皆と共に歩んできた時間、たくさん一緒に遊んで、楽しんで、

嬉しかったり、悲しかったり、怒ったり、赦したり、

そのすべてが友だちと共に、そして神さまと共にあった時間。

そんな君たちに、冒頭のアンの言葉を贈ります。

「でも、きっと一番よいものになる！」

(つくし保育園園長 つだかずお)

※イースター礼拝 3月31日(日) あさ10時30分(醍醐教会)

楽しいイースター・エッグハント、お菓子を食べ

てお花見もできるかな。さくらが満開だといいですね。

いっしょにキリスト教の春のお祭りを祝いましょう。